

## 吉田俊栄の独り言 その6

◎月○日（晴れ） 小さな奇跡が起きた！

4年前に苗木から植えた「ゆず」が、5年目にしてようやく実をつけました。毎年ただただ伸びるばかりで、このまま実をつけずにいってしまうのかなあとあきらめそうにもなったときもありました。（ごめんね、ゆず君）小さな白い花を見つけたとき、思わずウルウルきてしまいました。「4年の間よく頑張ったねえ、ありがとう」です。うれしくなった私は、ゆず君を分けてもらった花屋さんにも報告！お店の人と喜びを分けあったりして（家内曰く、まるで子供ね、とぼっさり）。でも、何と言われようといいいんです。ハッピーな気分は、誰かに伝えたくくなりますよね。黙っている方がつらいのです。

ゆず君は、4年の間、じーっと頑張っていました。我々人間もまた、じーっと頑張る時期があります。「俺、なにをやってんだろう」「やっぱ、やめちゃおうかな」「私ってダメだな」と迷うときもあります。それでも、自分を信じて前進し続ければ、いつか実を結ぶ時が来る。

人生に、無駄なことは、ひとつもないのだよ、過去のすべては今日の為にあるのだよ、だから、大丈夫！ とゆず君が教えてくれました。

□日◎日（あっぱれ） 昨日は昨日のこと、明日は明日のこと。

今年前半の感動したことといえば、ワールド・ベースボール・クラシックがありました。ハラハラ・ドキドキの展開に日本国中盛り上がりましたね。観ている我々も一喜一憂しましたが、当の選手たちは大変な重圧であったろうと思います。韓国戦に敗れ、今日のキューバ戦。負けたら予選敗退の一番。選手たちはボールを投げながら、バッターボックスで構えながら、昨日のことをあれこれ考えていなかったはずです。もしも勝ったら明日はアメリカ戦だなあと考えながらバットを振ってはいなかったはずです。今日、そして今の瞬間に全力を注いでいたのではないのでしょうか。「今の自分にできることにベストを尽くす」これは、私たちの生き方にもいえることですね。誰にでもあること。「昨日、仕事で失敗してしまった」「第一志望の学校に入れなかった」「好きな人に思いを打ち明けられなかった」と悔やんでしまうことがあります。でもね、朝起きたら、昨日のことは、すべて過去世のことですよ。

自分の歴史の一ページ。だから、執着しない。それよりも、積極的な気持ちで受け入れてしまうしかないでしょう。そして、まだ起きていない未来のことも考えすぎない。考えすぎて、心配ばかりしているのは自分が苦しいだけ。だから、執着しない。取り越し苦労をしない。

「今日」を後悔しないように、楽しく過ごすことに執着したらどうでしょうか。

自分が楽にいられるように、受け止め方、考え方を変えてみましょう。

●月▽日（曇りのち晴れ）

昨年より取り組んできた（大げさな表現ですが）メタボ撲滅運動の中間報告です。ウエスト周りは約8cm減、体重は5kg減となりました。（スッキリ！）家内からも「よくがんばったじゃん。エライえらい」とやっとお褒めのお言葉をいただきました。「でも、リバウンドしないでね～ズボンがいくらあっても足りないからね～」とくぎを刺すことも忘れず。

お腹周りがすっきりすると、気分もすっきり！ 以前は「おとうさんはデブちゃんですねえ」と子ども達にいじめられていましたが、最近ではいじめもすっかりなくなりました。

中高年のみなさん！成せばなるのです。青春を取り戻しましょう！